

「森永製菓グループ 統合報告書 2021」の訂正について (2022年9月26日)

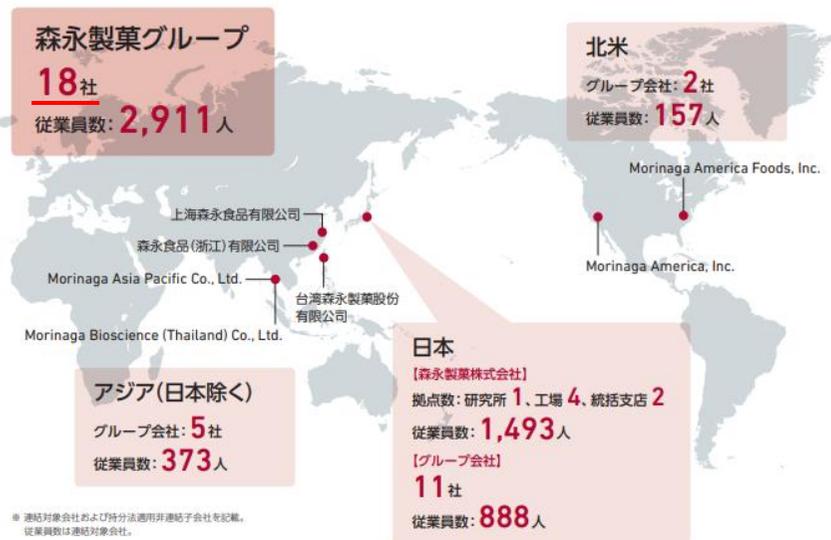
記載内容に一部誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

訂正箇所には下線を付しています。

訂正前

<5ページ>

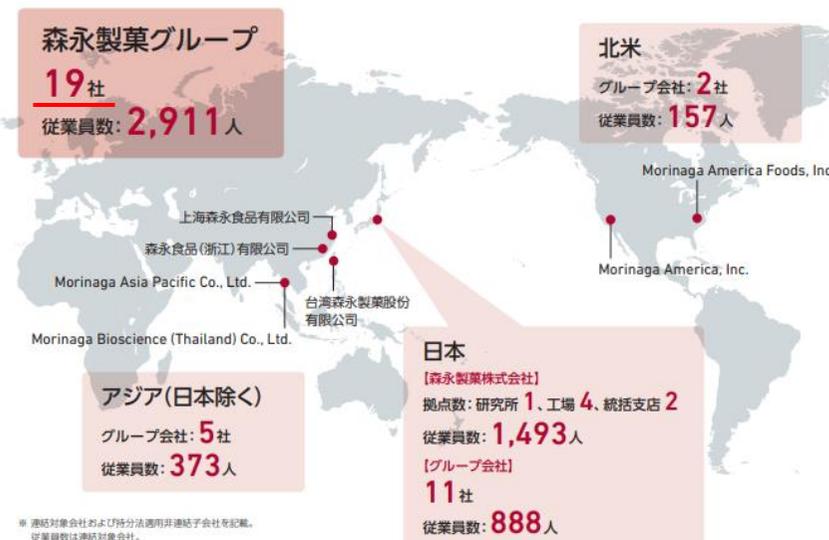
森永製菓グループの広がり (2021年6月30日現在)*



訂正後

<5ページ>

森永製菓グループの広がり (2021年6月30日現在)*



「森永製菓グループ 統合報告書 2021」の訂正について (2022年2月25日)

記載内容に一部誤りがありました。お詫びして訂正いたします。
訂正箇所には下線を付しています。

訂正前

<2 ページ>

日本の菓子産業の近代化の礎をつくる

アメリカで12年にわたり菓子製造技術を学んだ創業者の森永太郎は、日本の人々においしく栄養価の高い菓子を広めたいとの想いで「森永西洋菓子製造所」を創業。菓子産業の近代化を目指し、機械による大量生産、販売網の整備と広告宣伝による大量販売を実現するなど、日本における菓子産業の礎をつくり、西洋菓子を普及させました。



訂正後

<2 ページ>

日本の菓子産業の近代化の礎をつくる

アメリカで11年にわたり菓子製造技術を学んだ創業者の森永太郎は、日本の人々においしく栄養価の高い菓子を広めたいとの想いで「森永西洋菓子製造所」を創業。菓子産業の近代化を目指し、機械による大量生産、販売網の整備と広告宣伝による大量販売を実現するなど、日本における菓子産業の礎をつくり、西洋菓子を普及させました。



「森永製菓グループ 統合報告書 2021」の訂正について (2021年12月16日)

記載内容に一部誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

訂正箇所には下線を付しています。

訂正前

<9ページ>

財務実績

	2020年度目標	2020年度実績
売上高営業利益率	10%以上	9.6%
ウェルネス売上高比率	50%以上	45.7%
グローバル売上高比率	10%以上	6.1%
ROE	10%以上	11.8%
自己資本比率	50%以上	60.9%
配当性向	<u>30%以上</u>	30.0%

<36ページ>

2018中期経営計画における重要経営指標

視点	指標	2020年度実績	目標
収益性	売上高営業利益率	9.6%	10%以上
効率性	ROE	11.8%	10%以上
安全性	自己資本比率	60.9%	50%以上
株主還元	配当性向	30.0%	<u>30%以上</u>

訂正後

<9ページ>

財務実績

	2020年度目標	2020年度実績
売上高営業利益率	10%以上	9.6%
ウェルネス売上高比率	50%以上	45.7%
グローバル売上高比率	10%以上	6.1%
ROE	10%以上	11.8%
自己資本比率	50%以上	60.9%
配当性向	<u>30%</u>	30.0%

<36ページ>

2018中期経営計画における重要経営指標

視点	指標	2020年度実績	目標
収益性	売上高営業利益率	9.6%	10%以上
効率性	ROE	11.8%	10%以上
安全性	自己資本比率	60.9%	50%以上
株主還元	配当性向	30.0%	<u>30%</u>

以上